

福祉のまちづくりシンポジウム



安心して住み続けられる まちづくりを考える

使いやすいものづくり、住まいづくり、まちづくりのためには、ユーザーとつくり手が、ともに考え・試行錯誤しながらよりよいものを生み出していくプロセスが必要です。ユーザー自身に求められている視点、作り手はどのようにユーザーと向き合い、ユーザー自身はどのように声を届けていけば良いのか、講演と事例報告をもとに考えます。

2月26日(木) 18:00 ~ 20:00

サンライフ練馬にて (西武池袋線中村橋駅から徒歩3分)

1 基調講演

講師：高橋 儀平 氏 (東洋大学ライフデザイン学部教授)

テーマ：「安心して住み続けられるまちづくり」

2 事例報告

「ユーザーと一緒に考える
ものづくり・住まいづくり・まちづくり」

コーディネーター：高橋儀平氏

パネリスト (事例報告)：

- ものづくりの現場で…奥山俊博氏 東京大学先端科学技術研究センター
- 住まいづくりの現場で…植田瑞昌氏 一級建築士、福祉住環境コーディネーター1級
- まちづくりの立場から…福永順彦氏 (株) 場所づくり研究所プレイス代表

3 意見交換会 パネリストと会場のみなさん

ご参加お待ちしております！

※行事参加にあたり、配慮が必要な方は、2月20日(金)までに

練馬区地域福祉課までお知らせください。(裏面参照)

TEL：(3993)1111(代) FAX：(5984)1214

本行事は、練馬区「ユニバーサルデザインイベントマニュアル」の実証実験として行われます。

主催：練馬区健康福祉事業本部福祉部地域福祉課

手話通訳あり

保育あり(要申込)

